

問1 表に示された5つの能力の必要性について、あなたの考えを述べなさい。

配点：50点 (カテゴリ1つにつき10点)

- 「他職種理解と他部門との調整技術」については、退院支援の充実に必要なチームアプローチに必須の技術である。対象者の代弁者ともなりうる看護職は関係者の役割と機能を理解し、目標達成のために関係者のコミットメントを高める役割を担っているおり、そのためにも必要な能力である。
- 「診療報酬の知識を持ち、コスト意識を持つ」については、管理対象の「お金」のマネジメントに関わることであり、スタッフや対象者の知識も少ない領域であるため、重要である。
- 「人材育成の観点をもって環境を整える」については、より質の高い看護サービスを提供できる人材を育成するという管理者の責務の一つである。特殊領域であることから新人のみならず異動者の教育も必要とされる。
- 「実践能力向上に取り組む姿勢」については、退院支援を具体的に進めていくうえでも重要であり、スタッフのロールモデルとして示すべき能力でもある。
- 「コミュニケーションと交渉技術」については、他の4つの能力の土台となるものであり、関係各所との調整、交渉などを円滑に進めていくうえで欠かせない能力である。

問2 これらの能力を発揮できる人材を育成するための方策について、あなたの考えを述べなさい。

配点：50点 (調査結果のまとめ20点、方策30点)

- 調査結果の5つの能力は、管理に求められる「人・もの・金・時間・情報」のマネジメントについて、特に退院支援に特徴的な事柄に焦点が当たる形でまとめたものである。よって、これらの能力開発のための基本的な教育として、認定看護管理者教育が活用できると考える。
- また他部署からの異動者については、これまでの退院支援の知識・技術を基に、看護協会主催の「小児在宅移行支援 指導者育成研修」に参加することで、小児特有の課題について学習することによって力がつけられると考えられる。
- 以上のような、看護協会の研修を上手に活用することに加えて、日々行われている退院支援のケースカンファレンスを教材として、2から3年のうちから、具体的な調整の現状や協働する他職種との連携、プロトコルの実際等を学んでもらう場を設けることも必要である。

2022年度研究科入学者選抜試験問題（社会人推薦第2次募集）出題意図  
《医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程》

〔専門領域問題〕

看護管理学コース

アドミッション・ポリシーに掲げた「専攻する分野の基礎知識を有していること、明確な問題意識を持ち、主体的に学習と研究に取り組める自律した人であること」を確認することを目的として、『退院支援を推進する管理者の能力』をテーマにした問題を作成した。

問1は、看護管理者に求められる能力について、実践的課題を踏まえた論理的な思考力を問う問題である。

問2は、テーマに対する受験者の看護管理的な視点における、データを活用した論理的な思考力を問う問題である。